

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	大山崎町における安全・安心な下水道整備（防災・安全）			重点計画の該当	—
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）	交付対象	大山崎町		
計画の目標					

- ・集中豪雨の多発や都市化に伴う浸水リスクの増大に対し、総合的な浸水対策を実施することにより、住民の生命と財産を最大限守る。
- ・全体的に老朽化の進行する下水道施設の計画的な維持管理と改築により、道路陥没事故や機能不全等を未然に防止する。

計画の成果目標（定量的指標）	①10年確率降雨に対応するため、大山崎排水ポンプ場の排水能力を現有10.2m ³ /s（50%）から20.1m ³ /s（100%（H31末））に向上させる。 ②汚水中継ポンプ場における長寿命化対策実施率を72%（H29）から100%（H32）とし、完了させる。 ③雨水排水ポンプ場、汚水中継ポンプ場における耐震化対策実施率を0%（H29）から100%（H33）とし、完了させる。				
----------------	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)	
①大山崎排水ポンプ場の排水能力 排水能力/予定排水能力（予定20.1m ³ /s）	50%	100%	100%	
②汚水中継ポンプ場における長寿命化対策実施率 対策済機器/対策予定機器（31機器対策済/全43機器）	72%	100%	100%	
③雨水排水ポンプ場、汚水中継ポンプ場における耐震化実施率 対策済箇所/対策予定箇所（2施設）	0%	50%	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,685百万円	A	3,685百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	—
-------	-----------------	----------	---	----------	---	---	---	---	---	---	---------------------------	---

交付対象事業

A1 下水道事業											全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）								
										H29	H30	H31	H32	H33				
A1-1-1	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	ポンプ場	大山崎排水区（大山崎排水ポンプ場）	排水機場増設 Q=10.2m ³ /s (5.1m ³ /s×2台)	大山崎町						3000		—	
A1-1-2	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	雨水	大山崎排水区（雨水管渠）	浸水対策工事	大山崎町						21		—	
A1-1-3	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	汚水	大山崎汚水中継ポンプ場長寿命化対策	設備の改築・更新	大山崎町						106		策定済	長寿命化計画
A1-1-4	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	汚水	大山崎汚水中継ポンプ場耐震化対策	耐震化工事	大山崎町						80		—	
A1-1-5	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	ポンプ場	大山崎排水ポンプ場（B棟）耐震化対策	耐震診断・耐震化工事	大山崎町						176		—	
A1-1-6	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	汚水	大山崎・西淀・南長岡処理分区	管渠等調査・浸入水対策	大山崎町						56		—	
A1-1-7	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	全体	ストックマネジメント計画（管渠・ポンプ場）	調査・検討・設計・工事	大山崎町						246		—	ストックマネジメント計画
小計（下水道事業）											3685		—					

C 効果促進事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）							
番号	一体的に実施することにより期待される効果															

計画の名称

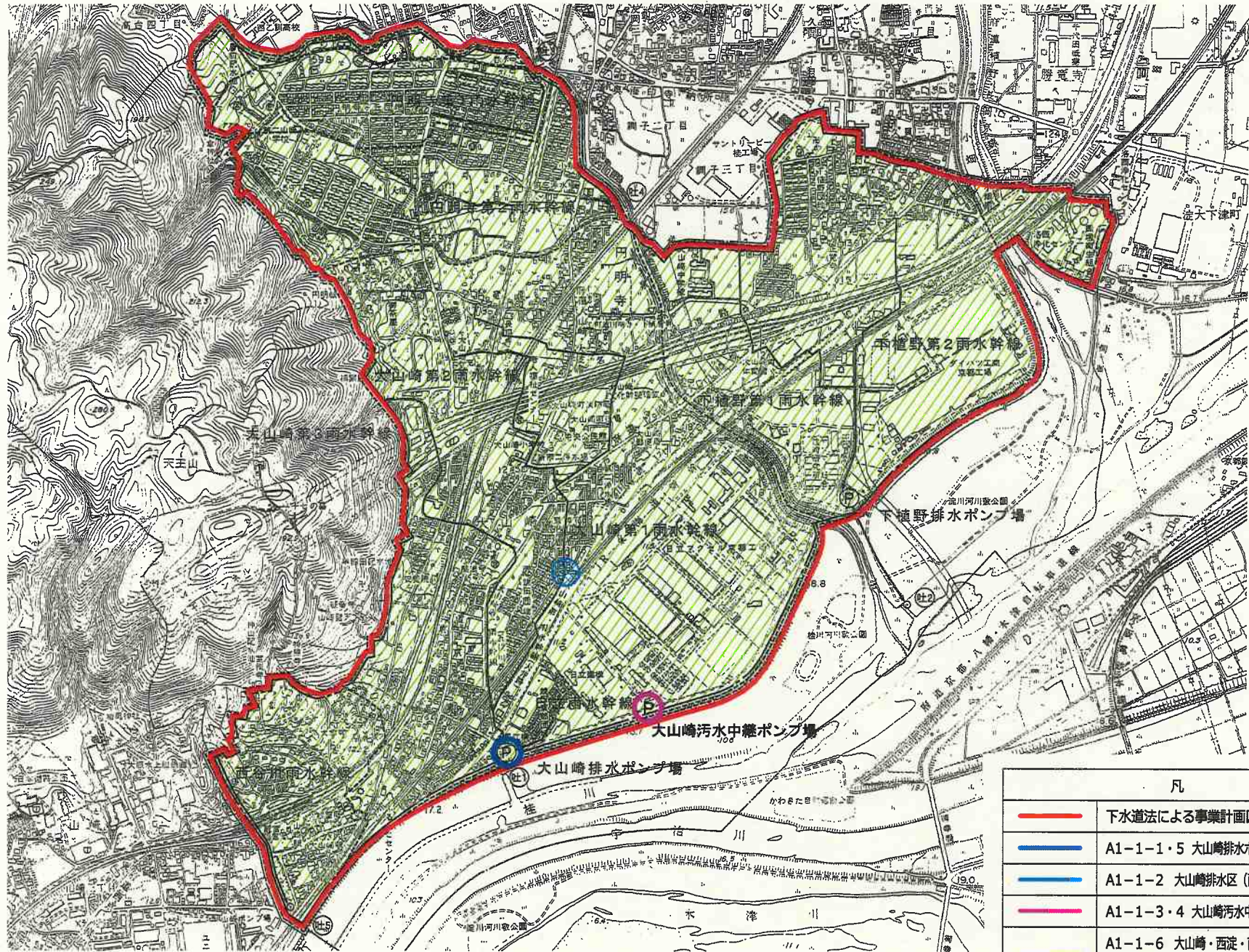
大山崎町における安全・安心な下水道整備 (防災・安全)

計画の期間







平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)

交付対象

大山崎町



凡 例

	下水道法による事業計画区域
	A1-1-1.5 大山崎排水ポンプ場増設、B棟耐震化対策
	A1-1-2 大山崎排水区 (雨水管渠)
	A1-1-3.4 大山崎汚水中継P場長寿命化対策、耐震化対策
	A1-1-6 大山崎・西淀・南長岡処理分区
	A1-1-7 ストックマネジメント計画 (管渠・ポンプ場)

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：大山崎町における安全・安心な下水道整備(防災・安全)

都道府県名：京都府 大山崎町

チェック欄

I 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	レ
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性)	レ
II 整備計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	レ
②定量的指標の明瞭性	レ
③目標と事業内容の整合性	レ
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	レ
III 整備計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	レ
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	レ